

平成31年度

平成31年度 東京湾中央航路航路調査船運航

仕 様 書

平成31年1月

国土交通省関東地方整備局

1. 運航概要

本件は、発注者所有の航路調査船「うらなみ」及び「べいさーち」を東京湾中央航路（周辺海域含む）の航路監視パトロール業務及び工事監督等に就役させるため、受注者による運航を行うものである。

2. 運航船舶主要目

運航船舶の主要目は、下表のとおりである。

船舶主要目	航路調査船「うらなみ」	航路調査船「べいさーち」
船体寸法	長さ	21.05 (m)
	幅	4.69 (m)
	深さ	2.12 (m)
	吃水	0.85 (m)
総トン数	43 (GT)	75 (GT)
材質	軽合金	鋼（船体：鋼，上部構造：軽合金）
主機関	607 (kW) × 2基	1,109 (kW) × 2基
航行区域	沿海（限定）	沿海
主要搭載機器	揚貨装置×1基	揚貨装置×1基
	マルチビーム測深機×1式	マルチビーム測深機×1式
	監視カメラ×1式	監視カメラ×1式
	レーダー・AIS装置×1式	レーダー・AIS装置×1式
		放水銃・水噴霧設備×1式
		電光表示装置×1式

3. 運航期間

(1) 平成31年4月1日から平成33年3月31日までとする。

但し、当該期間中の行政機関の休日並びに発注者が定期的維持修理を実施する期間は除くものとする。

(2) 定期的維持修理は、下表の期間を予定しているが、詳細な修理期間は、監督職員より指示する。

航路調査船	定期的維持修理	
	平成31年度	平成32年度
うらなみ	平成31年6月中旬～ 平成31年8月下旬	平成32年6月中旬～ 平成32年8月下旬
べいさーち	平成31年12月上旬～ 平成32年3月中旬	平成32年12月上旬～ 平成33年2月中旬

4. 運航内容

運航内容は、下表のとおり見込んでいる。

「うらなみ」

名称	単位	数量	摘要
運航	式	1	
運航（平成31年度）	日	188	
運航（平成32年度）	日	189	
運休	日	0	
休止	日	0	
運転	リットル	143,206	軽油、運転965時間
船舶保険料	日	731	

「べいさーち」

名称	単位	数量	摘要
運航	式	1	
運航（平成31年度）	日	174	
運航（平成32年度）	日	195	
運休	日	0	
休止	日	0	
運転	リットル	193,321	軽油、運転970時間
船舶保険料	日	731	

5. 係留場所、引渡場所及び返還場所

(1) 「うらなみ」

神奈川県横須賀市新港町13番地先

関東地方整備局 東京湾口航路事務所 船舶係留場（別添図参照）

(2) 「べいさーち」

神奈川県横浜市西区みなとみらい1丁目1番地

関東地方整備局 京浜港湾事務所 船舶係留場（別添図参照）

6. 運航仕様

6-1. 運航場所

航路調査船	運航場所
うらなみ	東京湾内及びその周辺海域の発注者が指定する場所とする。
べいさーち	東京湾内及びべいさーち係留場より50浬の範囲の発注者が指定する場所とする。

6-2. 運航・運休・休止

- (1) 運航・運休・休止は、監督職員が通知する運航予定通知書に基づき行うものとし、発注者の指定する様式に従って運転日報（別添1-1参照）及び月毎の運航実績報告書（別添1-2参照）を監督職員に提出するものとする。
- (2) 運航時間帯は、就業時間8時30分から17時15分までのうち、休憩1時間を除いた7時間45分とする。なお、発注者の都合により上記以外であっても運航の通知があった場合は、その通知に従うものとする。
- (3) 運休とした日は、緊急の運航に備えて待機するものとする。

6-3. 運転

- (1) 運転時間は、当該船舶が航行した時間とする。
- (2) 運転に係る当該船舶の1時間当り燃料消費量は、下表のとおりとする。

航路調査船	燃料消費量
うらなみ	148.4L/h
べいさーち	199.3L/h

6-4. 船舶保険

受注者は、船舶保険〔普通期間保険第5種と船主責任保険(P&I 保険)（保険支払限度額2億円、休航戻し及び油その他の汚濁水面清掃費用削除）〕と同等以上のものに加入するものとし、契約証書の写しを監督職員に提出するものとする。

また、船舶保険における対象船舶評価額は、下表を想定している。

航路調査船	船舶評価額
うらなみ	49,174,845 円
べいさーち	573,975,230 円

6-5. 乗組員

受注者は、船舶職員及び小型船舶操縦者法に基づき船員を当該船舶に乗り込ませるものとする。その他、運航に必要な船員を乗り込ませるものとする。

船 舶	有資格者			普通船員
	船 長	機 関 長	機 関 士	甲 板 員
うらなみ	海技士(航海) 6級以上	海技士(機関) 5級以上	海技士(機関) 6級以上	
べいさーち	海技士(航海) 6級以上	海技士(機関) 4級以上	海技士(機関) 5級以上	船員労働安全衛生規則第 28条二及び七に規定する 資格または経験

6-6. 一般事項

- (1) 受注者は、当該船舶の運航管理、保守管理、維持管理等を行うものとする。
- (2) 受注者は、当該船舶の運航管理を行うための運航管理者を選任し、監督職員へ通知するものとする。なお、乗組員が運航管理者を兼務する場合は、事前に監督職員の承諾を得るものとする。
- (3) 受注者は、運航に先立ち、運航計画書を作成し、監督職員に提出するものとする。
なお、記載内容は下記を標準とする。
 - 1) 実施体制組織表（地震等緊急時の体制を含む）
 - 2) 運航中止基準
 - 3) 緊急連絡網
 - 4) 保守点検方法及び内容
 - 5) 安全管理
 - 6) その他必要事項
- (4) 運航にあたっては、海上交通安全法、船舶安全法、海上衝突予防法並びに海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律等の関係法令に従い、安全に留意し、事故が生じないように十分注意するものとし、船舶の構造及び機能等を習熟のうえ運航を行うものとする。
- (5) 船舶及び係留場所に異常が生じた場合は、速やかに監督職員に報告し指示を受けるものとする。
- (6) 船舶が常に最良の状態で運航できるように、日常点検簿（別添2参照）を作成して点検を行うこととし、運航に支障のある異常が発見された場合は、速やかに監督職員に報告し指示を受けるものとする。
- (7) 潤滑油及びオイルエレメント等（消耗品を除く）について補充や交換の必要が生じた場合は監督職員と協議するものとし、運航期間の末日までに変更契約を行うものとする。

する。

- (8) 受注者は、関係官庁への諸手続きを行うものとする。
- (9) 発注者が特に必要と判断する場合は、運航内容（航行区域、運航日数等）の変更ができるものとし、契約変更の対象とする。
- (10) 受注者は、船舶運航実態調査を調査要領に基づき実施するものとする。なお、調査要領等は、監督職員の指示による。
- (11) 東京湾中央航路内における漂流物の除去等を行う。また、「べいさーち」においては、マルチビーム測深機を活用した海底状況確認を行う。
- (12) 電力及び用水の経費は、発注者が提供する。
- (13) 発注者の実施する訓練に参加するものとする。

6-7. 定期的維持修理

- (1) 定期的維持修理期間は、関係法令に基づき、乗り組み基準の特例許可を受けたうえで乗組員（有資格者）を1名とすることができる。
- (2) 定期的維持修理期間においては、修理内容の確認を行うため、運航予定通知書による通知または監督職員との協議により、乗組員を当該船舶の維持修理作業（別途契約の他業務）に臨場させることができるものとする。臨場は1名を原則とし、これによりがたい場合は監督職員と協議のうえ変更することができる。また、臨場に要する費用については、運航期間の末日までに変更契約を行うものとする。
なお、臨場に要する修理場所までの旅費の算定は、国土交通省所管旅費取扱規則及び国土交通省日額旅費支給規則によるものとする。当該船舶を運航して目的地まで移動した場合は、片道分のみを計上するものとする。
- (3) 臨場の項目は以下のとおりとし、詳細は監督職員と協議するものとする。
 - ① J G 立会時、② 主要箇所解放時、③ 試運転時、④ その他必要と判断したとき

6-8. 地震等緊急時及び台風等荒天時の対応

- (1) 地震等緊急時に対応するため、6-6（3）に述べた運航計画書に緊急時の運航計画について記載するものとする。また、地震等緊急時に1時間以内に運航できる体制を確保するものとする。なお、監督職員の承諾を得た場合はこの限りではない。
- (2) 台風等荒天時における避難については、監督職員に報告するものとし、避難場所については、事前に監督職員に承諾を得るものとする。避難中は他船との接触、盗難防止のため船内に常駐することを原則とし、これにより難しい場合は監督職員と協議するものとする。

7. 契約方法

(1) 契約は、各航路調査船の運航にかかる、下記項目毎の単価契約とする。

うらなみ

運航費項目	労務費	燃料	船舶保険料	諸経費
運航 1日当り	乗組員3名分	—	—	○
運休 1日当り	乗組員3名分	—	—	○
休止 1日当り	乗組員1名分	—	—	○
運転 リットル当り	—	○	—	○
船舶保険料 1日当り	—	—	○	○

べいさーち

運航費項目	労務費	燃料	船舶保険料	諸経費
運航 1日当り	乗組員4名分	—	—	○
運休 1日当り	乗組員3名分	—	—	○
休止 1日当り	乗組員1名分	—	—	○
運転 リットル当り	—	○	—	○
船舶保険料 1日当り	—	—	○	○

(2) 用語の定義

- 1) 運航は、船舶を運転している状態。
- 2) 運休は、発注者の都合や軽微な故障、荒天等の突発的な事態により運転していない状態。(30日未満で運航状態に復帰できる程度)
- 3) 休止は、船舶を30日以上運航する計画がなく、運輸局より許可を受けて港湾係留施設に係留し、保守・点検整備や荒天等により船舶を管理する必要がある状態。
- 4) 運転は、主機関等を稼働させ航行している状態。
- 5) 運航管理者は、監督職員が通知する運航予定通知書に基づき、乗組員に業務の履行を指示する者。

(3) 契約にあたっては、運航費の内訳書を提出するものとする。

なお、乗組員の労務費については、基本給(割増賃金対応基本額)と諸手当の内訳書とする。

8. 支払い

支払いは、1ヶ月毎の実績精算払いとし、下記の要領で行うものとする。

なお、労務費の計上には、1日8時間就業の単価を用いる場合、7.75/8 を乗じた単価を用いるものとする。

(1) 運航、運休、休止

運航、運休、休止にかかる費用は、当該月の各々の日数の合計に各々の1日当りの単価を乗じて得られる金額とする。

(2) 運転

運転にかかる費用は、当該月の燃料消費量の合計に1リットル当りの単価を乗じて得られる金額（円未満切り捨て）とする。但し、燃料消費量の合計に1リットル未満の端数が生じた場合は、小数2位四捨五入とする。

(3) 船舶保険料

船舶保険料は、当該月の全日数に単価を乗じて得た金額を支払う。

(4) 超過勤務手当

超過勤務手当は、1ヶ月間に就業時間外及び行政機関の休日に運航した累計時間（累計時間に1時間未満の端数が生じた場合は、その端数が30分以上の時は1時間とし、30分未満の時は切り捨てる）に割増賃金の対象となる単価を乗じて得られる金額とする。また、割増賃金の対象となる単価は、乗組員の労務費の基本給（割増賃金対象基本額）の1/7.75に時間帯によりそれぞれ下表の各時間帯に対応する率を乗じて得られた金額（円未満切り捨て）とする。

	割増率			
	5時～始業時刻	始業時刻～終業時刻	終業時刻～22時	22時～5時
平日	125/100	—	125/100	150/100
休日	135/100	135/100	135/100	160/100

(5) 休日等に運航した場合の支払について

前項により算出した超過勤務手当を支払う。

9. 検収

1ヶ月毎の運航日数等の確認をもって検収とする。

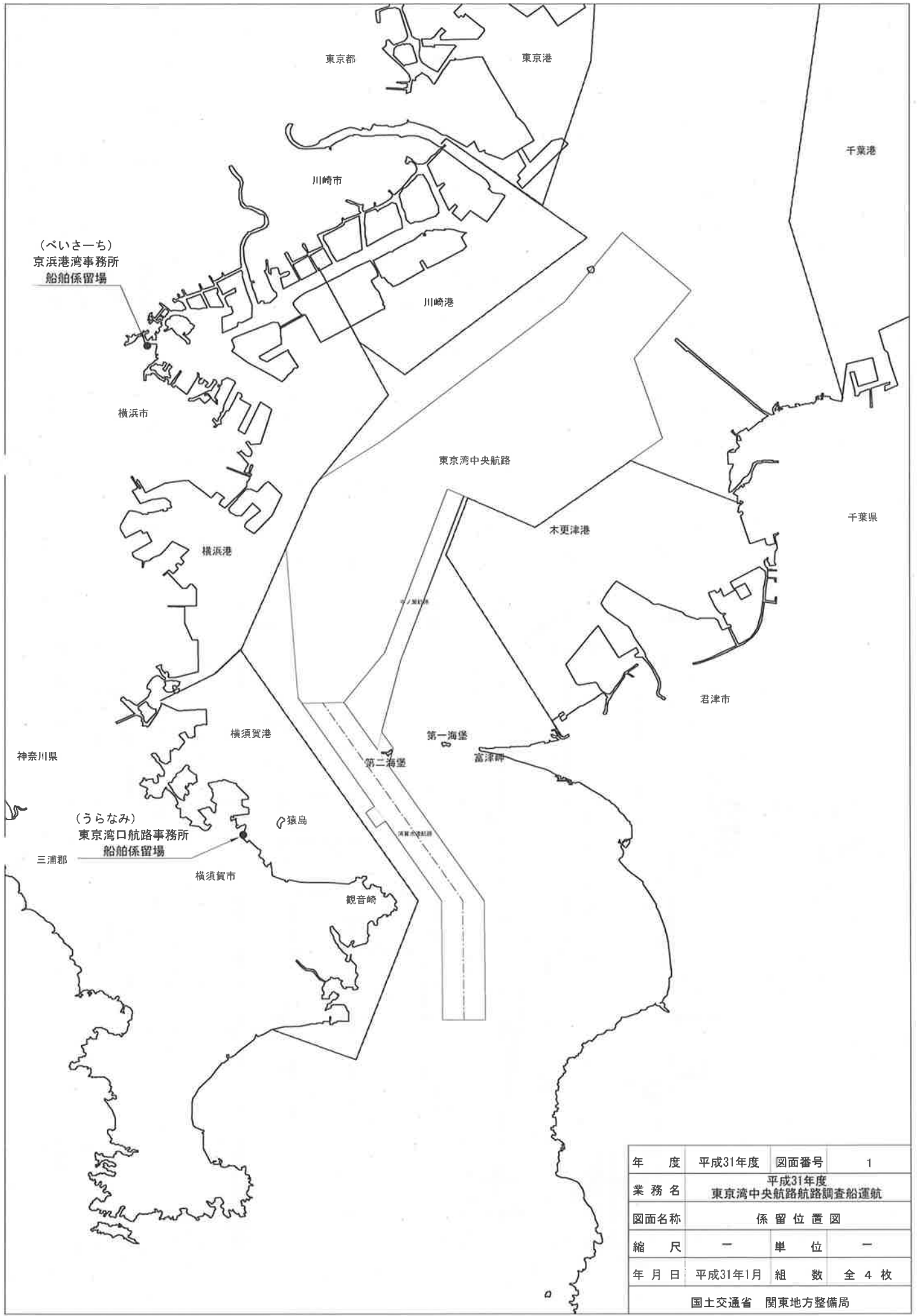
10. その他

(1) 暴力団員等による不当介入を受けた場合の措置

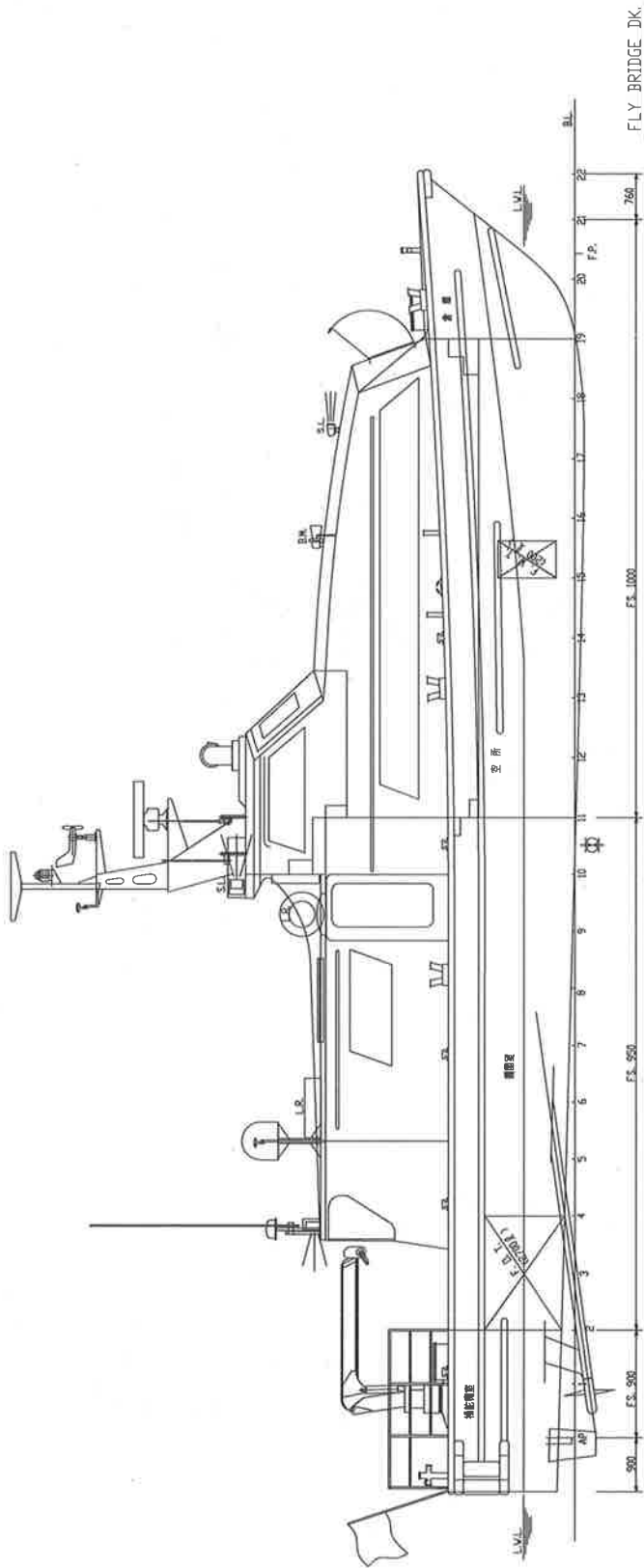
- 1) 受注者は、暴力団員等による不当介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否すること。また、不当介入を受けた時点で速やかに警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力をを行うこと。
- 2) 1) により警察に通報または捜査上必要な協力を行った場合には、速やかにその内容を記載した書面により発注者に報告すること。
- 3) 1) 及び2) の行為を怠ったことが確認された場合は、指名停止等の措置を講じることがある。
- 4) 暴力団員等による不当介入を受けたことにより工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議すること。

(2) 本特記仕様書に記載なき事項及び本業務の遂行上疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。

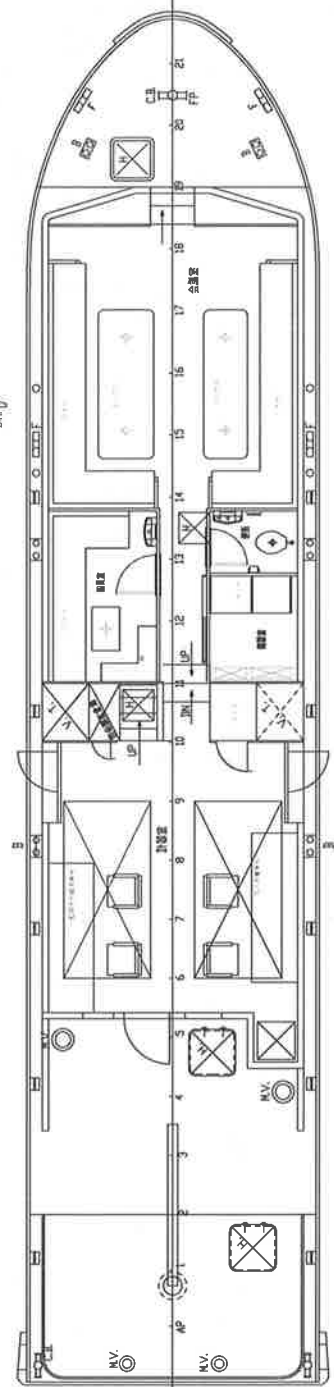
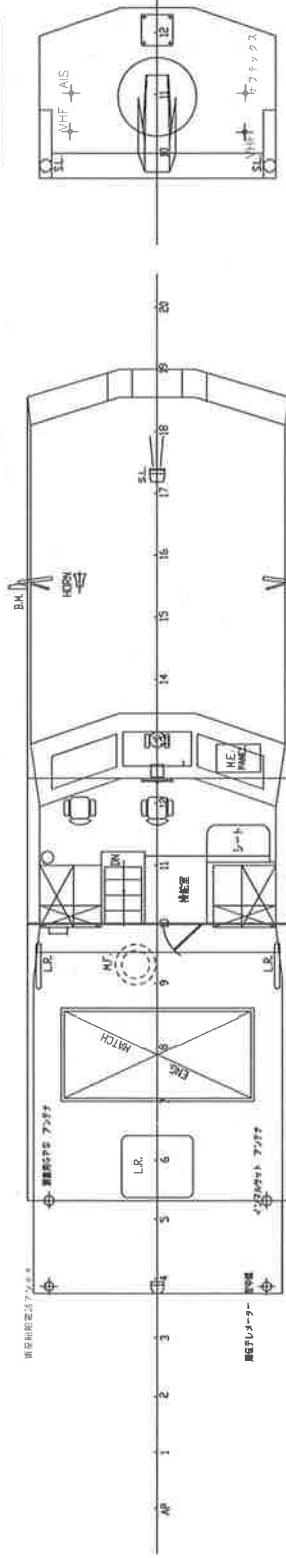
以 上



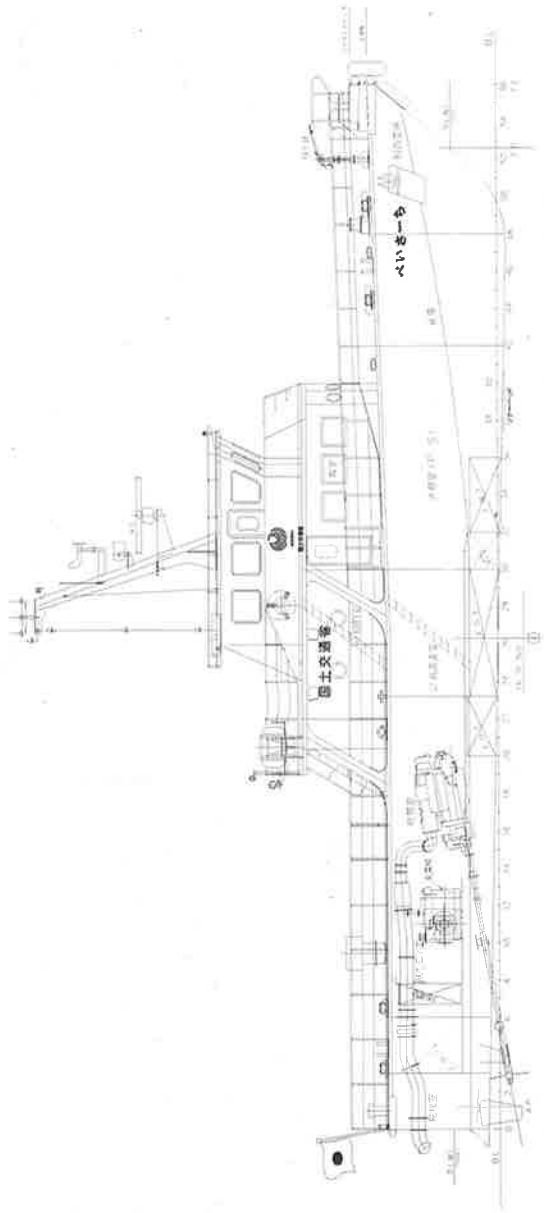
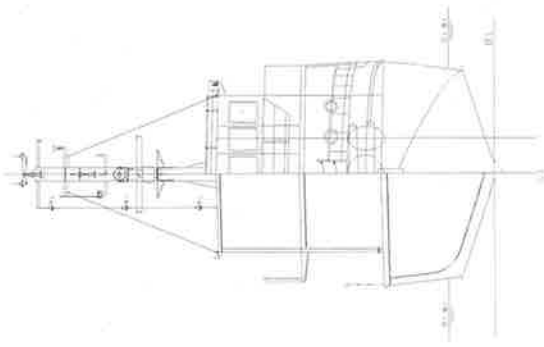
年 度	平成31年度	図面番号	1
業 務 名	平成31年度 東京湾中央航路航路調査船運航		
図面名称	係留位置図		
縮 尺	—	単 位	—
年 月 日	平成31年1月	組 数	全 4 枚
国土交通省 関東地方整備局			



FLY BRIDGE DK.

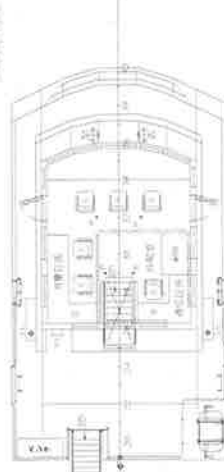
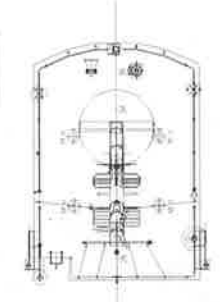


年度	平成31年度	図面番号	2
業務名	平成31年度 東京湾中央航路航路調査船運航	図面名称	一般配置図 (うらなみ)
縮尺	—	単位	—
年月日	平成31年1月	組数	全 4 枚
国土交通省 関東地方整備局			

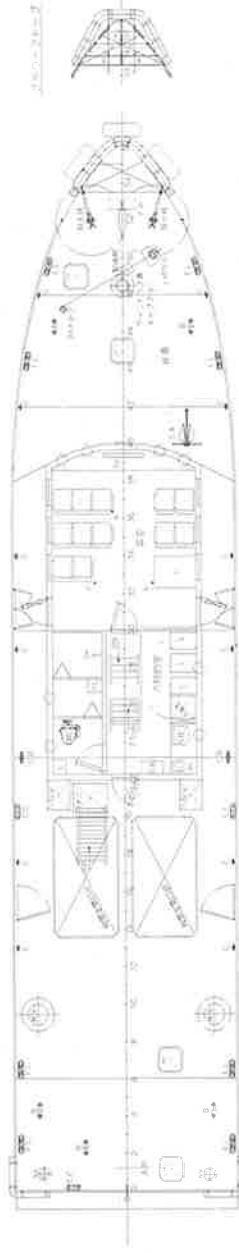


船体主要部分

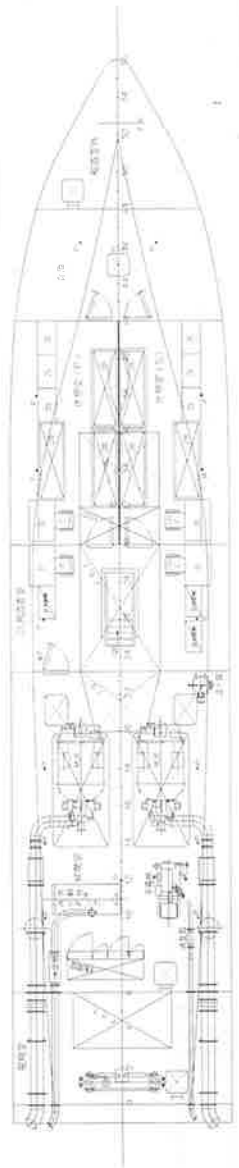
船体主要部分



上甲板

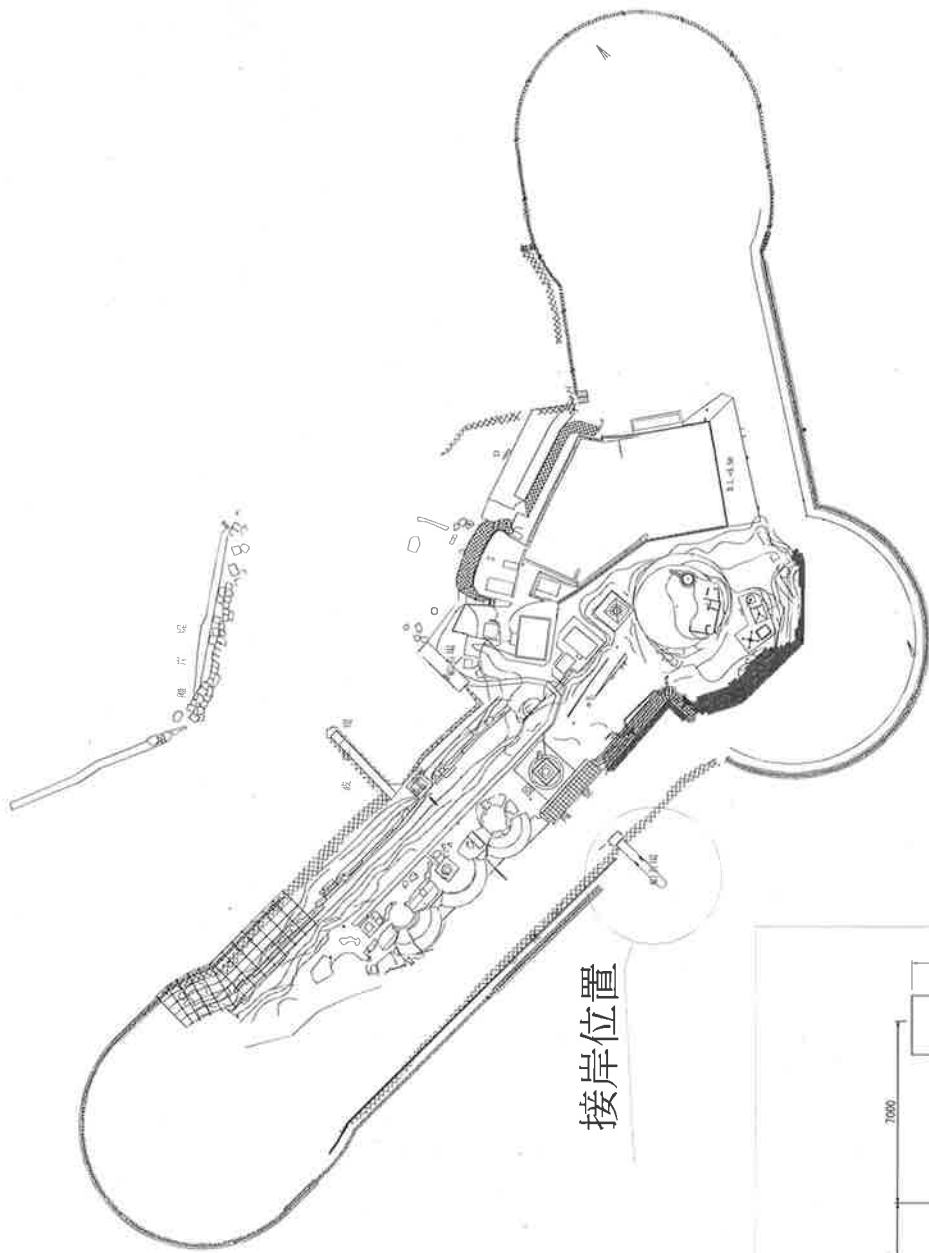


上甲板下



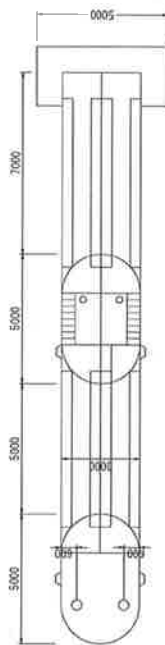
年度	平成31年度	図面番号	3
業務名	平成31年度 東京湾中央航路航路調査船運航		
図面名称	一般配置図 (べいさーち)		
縮尺	—	単位	—
年月日	平成31年1月	組数	全 4 枚
国土交通省 関東地方整備局			

第二海堡

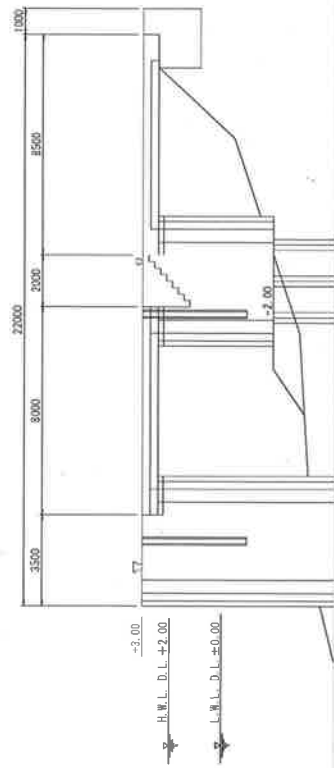


接岸施設標準断面図

平面図



断面図



海州

年度	平成31年度	図面番号	4
業務名	平成31年度 東京湾中央航路新調査船運航		
図面名称	接岸位置図		
縮尺	—	單位	—
年月日	平成31年1月	組数	全 4 枚
	国土交通省 関東地方整備局		

運転日報(〇〇)

平成 年 月 日 (曜日)	天候	監督職員	現場代理人	報告者

始業時刻	時 分	作 業 内 容				
終業時刻	時 分	始 時	終 時	時 間	運転時間	明 細
就業時間	分	:	:	分	分	
超過時間	分	:	:	分	分	
(125/100)		:	:	分	分	
超過時間	分	:	:	分	分	
(150/100)		:	:	分	分	
休日勤務	分	:	:	分	分	
(135/100)		:	:	分	分	
休日勤務	分	:	:	分	分	
(160/100)		:	:	分	分	
運転時間	航行	分	:	:	分	分
	その他	分	:	:	分	分
			:	:	分	分
			:	:	分	分
	計	分	:	:	分	分
休止時間	整備	分	:	:	分	分
	待機	分	:	:	分	分
	その他	分	:	:	分	分
			:	:	分	分
	計	分	:	:	分	分
		:	:	分	分	
就業人員	名	:	:	分	分	

【 記事 】 風向: 風速: m 波高: m

運航実績報告書

平成 年 月 日

監督職員
国土交通技官 ○○ ○○殿

受注者 住所
名称

下記のとおり運航実績報告書を提出します。

件名																		
契約者																		
契約年月日		平成 年 月 日																
契約期間		平成 年 月 日～平成 年 月 日																
平成〇〇年 〇月分使用内訳																		
日	運航	運休	休止	運転 時間	超過時間				日	運航	運休	休止	運転 時間	超過時間				
					125 100	135 100	150 100	160 100						125 100	135 100	150 100	160 100	
1									17									
2									18									
3									19									
4									20									
5									21									
6									22									
7									23									
8									24									
9									25									
10									26									
11									27									
12									28									
13									29									
14									30									
15									31									
16									計									
合計	運航日数								日									
	運休日数								日									
	休止日数								日									
	運転時間数								時間									
	船舶保険対象日数								日									
	超過勤務時間				125 100				時間 × 人									
					135 100				時間 × 人									
150 100							時間 × 人											
160 100							時間 × 人											

船舶点検表

船舶名 : _____
 点検日 : 平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日 (____ 曜日) _____
 天候 : _____

報告者

点検項目	点検時期		備考
	月例	日常	
1. 出航前			
1-1 船体関係			
1) 船体			
(1) 適正な係留状態確認	()	()	
(2) 係留索の損傷、摩耗確認	()	()	
(3) 船体の状態確認 (外板の損傷、変形、腐食、漏れ)	()	()	
(4) 外板以外舳錆部下地処理塗装		()	(随時)
2) 設備・属具			
(1) 搭載主要属具の積付状態確認	()	()	
(2) 備品の数量、積付状態確認	()		
(3) 係船装置の取付状態確認	()		
(4) 開口及び閉鎖装置の取付状態確認	()		
(5) 採光装置の取付状態確認	()		
(6) 救命装置の積付状態確認	()	()	
(7) 救命胴衣の数量確認	()		
(8) 信号類の有効期限確認 (点灯確認含む)	()		
(9) 航海用具、船灯、信号器具の積付状態確認	()	()	
(10) 船灯及び非常灯の点灯確認	()		
(11) 消火装置の積付状態確認	()	()	
(12) 消火装置の有効期限確認	()		
(13) 通風装置の取付状態確認 (電動用は作動確認含む)	()	()	
(14) 冷暖房装置の取付状態及び作動確認	()		
(15) 清水の量確認	()	()	
(16) 自己点灯電池取替え		()	(随時)
(17) クレーンの取付状態及び作動確認	()		
(18) 電光掲示板の点灯確認	()	()	
(19) 放水銃の作動確認	()		
(20) 音響測深装置の作動確認	()	()	
(21) 監視カメラ装置の作動確認	()	()	
(22) 画像伝送装置の作動確認	()	()	
3) 操舵室			
(1) 操舵装置の作動確認	()	()	
(2) 航海装置の作動確認	()	()	
(3) リモートコントロールレバーの作動確認	()	()	
(4) パネルスイッチ類の作動、ランプ確認	()	()	
(5) 汽笛の作動確認	()	()	
1-2 機関関係			
1) 機関始動前			
(1) 機関本体回りの状況、取付ボルトの状態確認	()		
(2) 燃料タンクの腐食確認	()		
(3) 燃料の油量確認	()	()	
(4) キングストン弁の締め状態確認	()	()	
(5) 海水こし器の汚れ、ビルジの確認	()	()	
(6) 機関冷却水の容量確認	()	()	
(7) 潤滑油の汚れ、油量確認	()	()	
(8) ビルジポンプの作動確認	()		
(9) 室内水漏れ、油漏れ、ビルジの確認	()	()	
(10) Vベルトの損傷、劣化、張り確認	()	()	
(11) 船尾管の状態確認	()	()	
(12) メインスイッチの確認	()	()	
(13) バッテリーの比重、液量確認	()		
(14) バッテリーの端子のゆるみ、ケースの損傷等確認	()	()	
(15) 機関室等ビルジ掃除	()		(貯留の場合)
(16) その他ポンプ(機関付以外)点検	()		
(17) 発電機点検	()		
(18) 通風機用電動機点検	()		
(19) 飲料水ポンプ用電動機点検	()		
(20) 冷暖房冷却海水ポンプ用電動機点検	()		
(21) その他電動機点検	()		
2) 機関始動後			
(1) 始動後の各種計器類の指示値確認	()	()	
(2) 始動後の排気色、冷却水排出確認	()	()	
(3) 機関の異音、異常振動の確認	()	()	
2. 帰港後			
2-1 船体関係			
(1) 係船索の状態確認	()	()	
(2) 船体回りの状態確認 (外板の損傷、変形)	()	()	
(3) 各室出入口の旋錠確認	()	()	
2-2 機関関係			
(1) 機関本体回りの状態確認	()	()	
(2) 油温、排気温度、冷却水温度の確認	()	()	
(3) 機関停止状態確認	()	()	

